
令和7年度 アクセラレータ・プログラムと 起業家応援団との連携のための標準マニュアル

2025年7月

標準マニュアルの目的と構成

標準マニュアルの目的

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）では、ICT分野における我が国の国際競争力の向上及び地域発ICTスタートアップ創出による地域活性化を図るため、全国各地において地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りを応援するとともに、地域から世界へと大きく成長する地域発ICTスタートアップの創出を目指しています。これを実現する上では、全国各地で、有望な学生の育成や、若手起業家のサポート等に取り組まれている組織・団体等（起業家応援団）との連携が必須であると考えています。

この連携においては、NICTと起業家応援団が、地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りという同じ目的を共有している必要があり、それぞれの協力体制を構築することが重要であるといえます。

本標準マニュアルは、NICTが考える地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りの理解を深め、NICTと起業家応援団が協力体制を構築する上で必要な前提について共通理解を得ることを目的としています。

標準マニュアルの構成

NICTが考える地域発ICTスタートアップ創出
エコシステム作りの理解

NICTと起業家応援団が協力体制を構築する上で
必要な前提についての共通理解

1

4つの視点とは

2

アクセラレータ・
プログラムとは

3

NICTと連携するこ
とのメリット

4

連携の上で
起業家応援団の
皆様にご対応
いただきたいこと

5

「起業家甲子園」
・
「起業家万博」
開催概要（予定）

地域からスタートアップが生まれ・成長するための共通言語「4つの視点」とは

共通言語「4つの視点」に基づくコミュニケーション

- ICTメンタープラットフォームでは、地域発ICTスタートアップの創出・成長の結果、地域産業の活性化につながる地域ICTイノベーション・エコシステムの形成に向け「どのような取組をすれば良いか？」を検討する上の共通言語として、4つの視点「シン・産業創出力」を図る指標を提案します。
- 4つの視点（シン・産業創出力）は、NICTが起業家応援団と連携し、サポートする上での「共通言語」としても活用し、何が揃っていて何が不足しているのか？を明確にし、各種施策を実施し補完していくよう、各地域と連携する。

地域からスタートアップが生まれ・成長し、地域産業の活性化につなげるための 4つの視点「シン・産業創出力」

202.6更新版

大前提

地域の特徴・強みを生かしたスタートアップ育成に向けてのビジョンを地域の産業振興の施策として描き共有する。

地域から起業家を
増やすために
必要な要素

1 起業家の源泉へのリーチ

大学・高専などの
研究機関へのリーチ

2 目線の向上機会の提供

先輩起業家等のロールモデルの
提示・接点の提供

+

起業家が
成長するために
必要な要素

3 十分なシード資金の 供給環境の整備

シードラウンドでリード投資
可能なVC・エンジェル・地域金融
機関・大学ファンドの増額、リード
投資に向けた巻き込み

4 オープンイノベーションの推進

- ✓ 地域特有ニーズを活かした
PoC機会の提供
- ✓ 協業環境の整備／等

地域ICTイノベーション・エコシステム

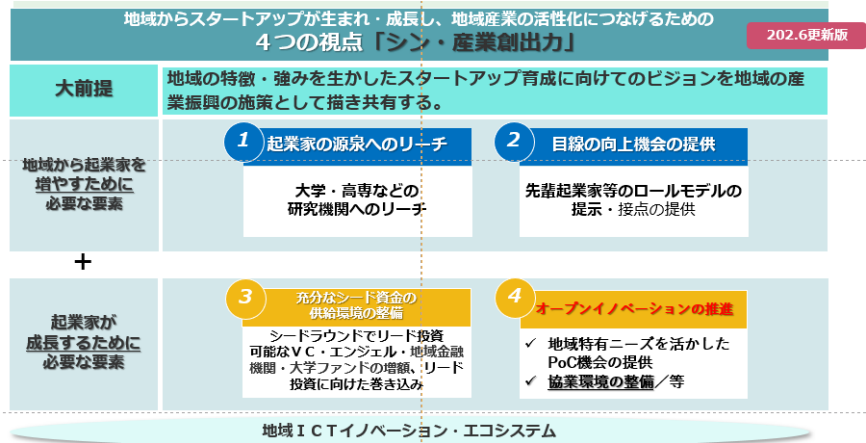
起業家応援団のみなさまとの共通言語としたい 「『シン・産業創出力』指標」について

ver0.5

2025年6月

指標づくりの主旨

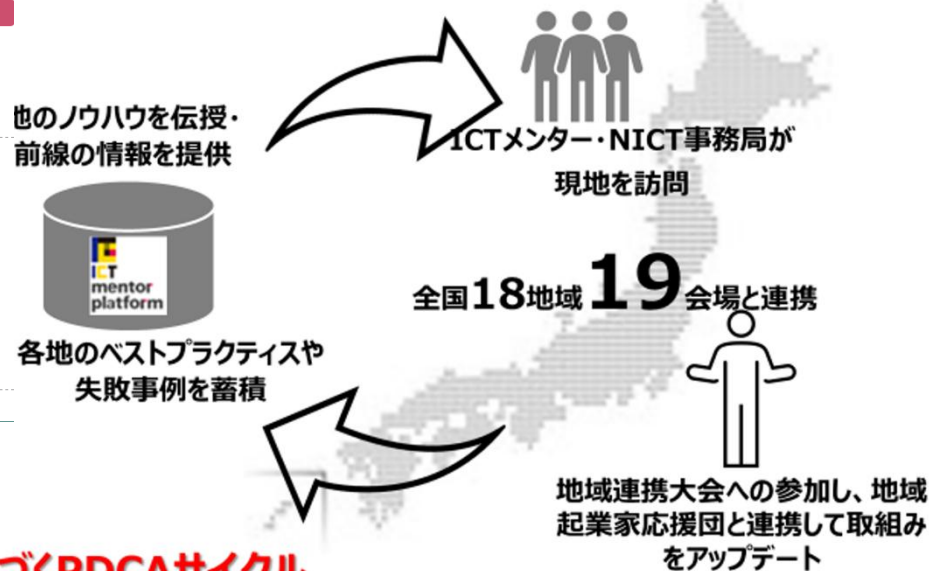
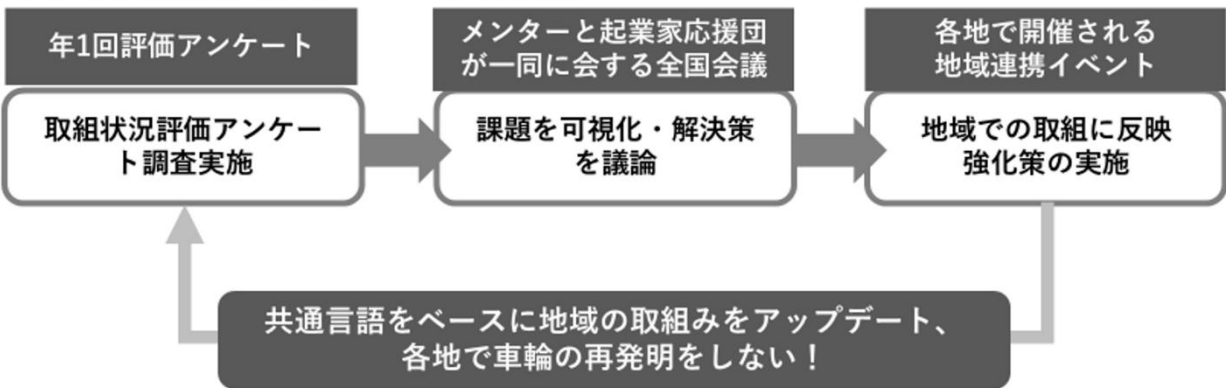
連携する起業家応援団との間で、シン・産業創出力の4つの視点(共通言語)をベースに、PDCAサイクルを回し、車輪の再発明を防ぎ、各地のイノベーション・エコシステムの成果を年々積み上げていくことを目的として、活動状況を可視化しやすくするための「指標」を作成し、地域と連携するイノベーション・ハブ機能を強化することを目指します。



各視点に沿って地域で
活動状況を確認できる
指標を作成

4つの視点	評価項目（イメージ）
①起業家の源泉	大学高専等連携数 若手学生向けプログラム数
②目線向上機会	ブラッシュアップ機会 海外派遣数
③シード資金供給環境	地銀・大学ファンド額 地域VC額 シード向け補助金額
④地域の協業環境	参画企業数 地域らしいテーマの設定

4つの視点に基づくPDCAサイクル



*車輪の再発明:既にある知識や技術を知らずに、同じものを一から作り直すこと。

【共有したい目標】グローバルで活躍できる地域発ICTスタートアップを輩出する

そのために

【共有したい前提】地域の強み・特徴を活かしたビジョンを描く

- ・地域の特徴・強みを生かしたスタートアップ育成に向けて、ビジョンを地域の産業振興の施策としてどのように描いているか
- ・描いたビジョンを、起業家応援団およびその協力者の間でどのように共有しているか

視点① 起業家の源泉へのリーチ:教育機関等との網羅的かつ強固な関係により起業家が輩出され続ける仕組みが構築されている

指標項目案	取組の有無	定量化の有無
1. 地域内の教育機関等に対して、起業家を発掘するためのパイプを網羅的に構築している	☐	☐
2. 地域内の起業家人材による事業化を支援するプログラムや体制を持っている	☐	☐
3. 地域内の起業家人材による事業化を支援するプログラムや体制のPDCAサイクルを回している	☐	☐

視点② 目線向上機会の提供:ステージに見合った目線向上の機会(先輩起業家等のロールモデルの存在)を提供できている

指標項目案	取組の有無	定量化の有無
1. 起業家の成長ステージ毎にロールモデル(先輩起業家、EXIT経験者等)とのパイプを網羅的に構築している	☐	☐
2. 国内での事業成長に向けた起業家人材の目線の向上の機会となるプログラムや体制がある	☐	☐
3. 海外での事業成長に向けた起業家人材の目線の向上の機会となるプログラムや体制がある	☐	☐

視点③ 十分なシード資金の供給環境の整備:シード期に必要な資金がスタートアップに供給される手段を地域で構築できている

指標項目案	取組の有無	定量化の有無
1. スタートアップの成長に資する公的資金や地域の金融機関等の融資に関する情報提供ができている	☐	☐
2. 地域内で活動をしているCVC、VCや、大学ギャップファンドなどによる投資の環境を整えている	☐	☐
3. 海外展開やディープテック領域で求められる大規模・長期の資金需要に応える調達環境を整えている	☐	☐

視点④ 地域の特徴・強みを活かした協業環境の整備:商品・サービス開発、販路拡大、実証フィールドの提供等協業関係が構築できている

指標項目案	取組の有無	定量化の有無
1. 世界に通用する競争力の高い領域・資源を、スタートアップに提供できる状態で整備している	☐	☐
2. スタートアップと地域の老舗企業・中核企業との協業環境を整備している	☐	☐
3. スタートアップと地域の老舗企業・中核企業との協業を、継続的に複数件生み続けている	☐	☐

「シン・産業創出力」指標 事務局案(用語解説)

用語	解説
グローバルで活躍	国内市場に留まらず、海外市場への進出によって事業を大きく発展させること
地域発スタートアップ	その地域の活性化(地場での産業創出)に寄与する立場を持ちづけるスタートアップであること 例) ・各地域特有の課題の解決に取り組んでいるスタートアップ。 ・課題はグローバルだが、地域(の拠点)から生まれた課題解決方法を用いているスタートアップ。 等
ICTスタートアップ	ICTを利活用したビジネスを手がけるスタートアップであること
地域でのビジョン	地域としてスタートアップ育成の先にどのような未来にたどり着きたいのかを描いたもの
PDCAサイクル	計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)を繰り返し、業務や品質を継続的に向上させる手法
起業家の成長ステージ	起業家の成長について、アイデア創出・検証期から事業化、成長拡大、成熟へと進む発展段階
EXIT経験者	起業後に株式上場(IPO)や事業売却(M&A)などで成功裏に事業を手放した実績を持つ起業家
CVC,VC	CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)は事業会社系の投資部門、VC(ベンチャーキャピタル)は独立系のスタートアップ投資ファンド
大学ギャップファンド	大学発の技術シーズを事業化する過程で、研究と起業の間にある資金ギャップを埋めるための支援資金
ディープテック領域	最先端の科学技術研究(AI、量子、バイオ、材料等)を事業化・社会実装することにより、社会課題を解決できる革新的な技術・事業分野。資金面での支援では、一般的には、多額の資金を長期にわたって供給することが求められる
世界に通用する競争力の高い領域・資源	特有の産業技術、自然資源、人材、伝統文化など、国際市場で優位性を持つ地域資産など
地域の老舗企業・中核企業	長年にわたり地域経済を支え、産業や雇用の中心的役割を果たしている企業で、信頼・技術・ネットワークを有する存在

「シン・産業創出力」指標の活用イメージ

イメージ① 起業家応援団のみなさまとNICTの連携強化での活用

連携強化に向けた**共通言語**として

起業家応援団のみなさまと、起業家支援のための持続可能な共存**共栄**を目指す仕組みを築き上げていくために、NICT/ICTメンタープラットフォームが貢献できることを整理し新たな施策の検討も適宜行う。（例：1on1イベントの実施で「メンタープログラムの整備」を強化、「研究シーズの事業化支援」のために別制度の紹介を行うetc.）

イメージ② 起業家応援団のみなさま同士での活用(1)**地域内連携**

地域内での自己評価・目標づくり・目線合わせの道具として

地域内のステークホルダー同士で、項目に沿って取組の有無を可視化することで、地域での起業家育成の現状を同じ目線で把握。必要なアクションを検討する。測定には、担当ICTメンターやNICTも必要に応じて加わって一緒に行う。（例：個別プログラムの拡充、地域内の他プログラム、支援メニュー間の連携の強化etc.）

イメージ③ 起業家応援団のみなさま同士での活用(2)**地域外連携**

地域間での取組のシェアを行う共通のものさしとして

同じ指標を用いた取組状況の可視化を行うことで、他地域の起業家応援団が作り上げている支援の特徴や、先駆事例、活動プロセス、お悩みなどを共有し、相互の取組のブラッシュアップや連携機会を作る。

（例：複数地域間での意見交換会、他地域の取組の導入etc.）

「シン・産業創出力」指標 事務局案の解説

●事務局案ご提示の意図について

- ・本指標は、みなさまとの連携強化を目指し、各地の取組を全国共通の言葉で可視化する試みです。初期の叩き台としてご覧ください。
- ・一方で、連携いただいた経緯や、地域で重視しているポイント、取組の目的・目標などは、地域によって差異があるため、どこまでを共有言語化できるのかは、みなさまとの議論によってブラッシュアップを図りたいと考えています。
- ・NICT/ICTメンタープラットフォームとの連携を視野に入れ、地域でご活用いただくことを想定しています。各地の連携大会は、起業家応援団のみなさまが独自に行っている取組である以上、NICTが上から地域の評価・チェックを行うという主旨ではありません。

●【共有したい目標】について

- ・「グローバルで活躍できる地域発ICTスタートアップを輩出する」ことが、みなさまとの連携および起業家甲子園・万博の開催において、私たちが目指したい共通目標です。

●【共有したい前提】について

- ・「4つの視点」に沿って連携の取組を強化するにあたり、起業家応援団のみなさまがお持ちのビジョンを共有いただきたく、記載しています。

●「指標」の書き方について

- ・視点①～④の見出し語のあとに続く文は、その視点で達成されていることの想定を1文で記載しています。

この部分 

視点① 起業家の源泉へのリーチ：教育機関等との網羅的かつ強固な関係により起業家が輩出され続ける仕組みが構築されている

- ・指標項目案は、「4つの視点」のそれぞれに対して、満たされているとよいと思われる要素を列記しています。
- ・指標項目案は、いずれも主語を「起業家応援団」のみなさまを想定しています。
- ・各文の末尾についている□は、各地でのお取り組み状況を各々で確認できるように設けた確認欄です。
- ・確認欄には、「取組の有無」(＝その項目に沿った取組が行われているか)と、「定量化の有無」(達成を定義づける数値目標をお持ちか)の2つの欄を案として設置しています。
- ・確認欄は、各地にてご自身の地域の取組状況の可視化にご活用いただくことを想定しています。

お取り組み状況
の確認欄

取組の有無	定量化の有無
☐	☐
☐	☐
☐	☐

今後の「シン・産業創出力」指標の策定・ブラッシュアップのプロセス

起業家応援団、ICTメンター、NICTでの共有すべき目標について、さらなる共通言語化を目指す
共有された目標に対して、具体的なアクションを描くためのツールとしての活用を目指す

1. 「第1回ICTメンター会議兼起業家応援団連携会議(キックオフ)」での事務局案のご提示(7/9実施)

- (1) 事務局より今回の指標作成の意図・目的のご説明
- (2) 事務局作成の指標案について、メンターのみなさまとのディスカッション
- (3) 起業家応援団のみなさまからのご意見・ご感想

【みなさまとお話したいこと】

- ・共通言語を深化するための指標づくりの意義合い
- ・グローバルで活躍できる地域発ICTスタートアップの輩出を目指すための指標としての適否
- ・地域でお使いいただく有用性について

2. 起業家応援団のみなさまとの意見交換(～12月を想定)

- (1) 起業家応援団のみなさまとの個別の意見交換(別途調整)
- (2) 起業家応援団のみなさまのお声を伺った上での指標の更新・活用イメージの策定
- (3) 指標案を使った起業家応援団・担当メンターによるお試し活用および事務局へのフィードバック(任意)

【みなさまとお話したいこと】

- ・本事業での起業家応援団のみなさまとNICT/ICTメンタープラットフォームの連携深化のための目線合わせ
- ・起業家応援団のみなさまによる「指標」ご活用の可能性について
- ・(お試し運用)起業家応援団のみなさまに向けて、事務局より指標の項目に沿った活動状況のヒアリング

3. 最終更新版の作成・ご提示(～3月)

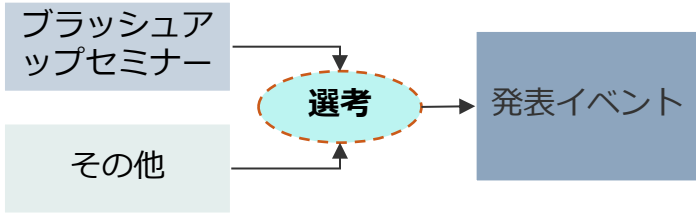
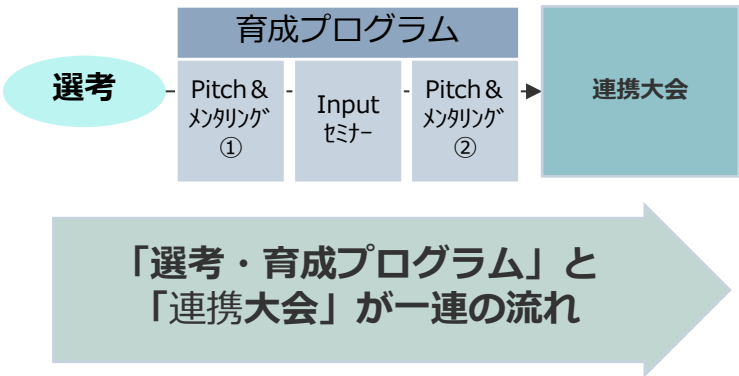
- (1) 起業家応援団のみなさまのお声を伺った上での指標更新および起業家応援団のみなさまによる活用イメージの策定
- (2) NICTおよびICTメンタープラットフォームとして起業家応援団のみなさまへ貢献できる活動を整理

アクセラレータ・プログラムとは

アクセラレータ・プログラムは、ビジネスコンテストと異なり、「選考・育成プログラム」から「地域における連携大会」までの一連の流れを持つことで、急速な事業成長を志向するスタートアップに特化した支援を可能とします。

NICTが連携する起業家応援団は、アクセラレータ・プログラムを志向したスタートアップ支援を実施している組織・団体先となります。

ビジネスコンテストとアクセラレータ・プログラムの違い

	(これまで) ビジネスコンテスト	アクセラレータ・プログラム
概念図	 ● ブラッシュアップセミナー～発表イベントの流れが不明確 ● ブラッシュアップセミナーへの参加が必須ではなく、その他からも応募 ● 選考プロセスがない場合もあり	 「選考・育成プログラム」と「連携大会」が一連の流れ
実施期間	✓ 発表イベント当日のみ（イベント的）	✓ 選考・育成プログラム・連携大会までの数か月間
ブラッシュアップセミナーの位置づけ	✓ イベント的に実施され、参加・不参加は自由（選考はなし） ✓ 発表イベントのための育成になりにくい	✓ 連携大会のためのメンタリング的な位置づけ
支援対象	✓ 幅広く関心のある起業家（志望者含む）	✓ 連携大会が求める起業家像を持った起業家 ✓ 急速な事業成長を志向するスタートアップ

NICTと連携することのメリット

NICTと連携することにより、NICTから起業家応援団に以下のような機能^{注1}を提供することができます。

全ての 地区に 共通

パートナー企業やVC・ICTメンターとのネットワークづくり

- 「起業家甲子園」・「起業家万博」に関わる多くのパートナー企業やVC・ICTメンターとの関係性を構築することができます。

連携大会としてのプロモーション支援

- 「起業家甲子園」・「起業家万博」の各地域における連携大会として、HPやプレスリリース等においてプロモーションを行います。

「起業家甲子園」・「起業家万博」への出場可能性

- 各地域における連携大会から「起業家甲子園」・「起業家万博」への道を設けることで、貴地域の取組に広がり設けることができます。

各地域の起業家応援団の情報共有の場への参加

- 各地域の起業家応援団の活動内容等について情報共有する場に参加でき、他地域とのネットワーク構築ができます。

ICT メンターを 派遣する 地区^{注1}

ICTメンターの派遣

- 連携大会・ブラッシュアップセミナー等に、ICTメンターを派遣します。
- また、連携大会において、「NICT賞」（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）^{注2}を獲得した学生・起業家に対して、ICTメンターが、「起業家甲子園」・「起業家万博」出場に向けて継続的にメンタリングやビジネスプランのブラッシュアップを行います。

その他

シリコンバレーブートキャンプへの参加

- 「NICT賞」（起業家甲子園出場権）^{注2}を獲得した学生チームの代表者を対象として、グローバル志向のアントレプレナーシップの醸成及び実践的なスキルの向上を図るため、シリコンバレーブートキャンプの実施を予定しています。

注1）「ICTメンターを派遣する地区」は、スタートアップ支援に向けた体制整備の取組等を勘案し、事務局にて判断します。

注2）NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

起業家応援団のみなさまへのご依頼事項

1. 起業家応援団のみなさまが主催する大会（連携大会）開催時のアンケート展開

- 起業家応援団の皆様が主催する大会（連携大会）では、参加者用アンケートの発表者への展開をお願いいたします。なお、Webアンケートフォームをご準備しておりますのでこちらをご活用ください。

<https://forms.gle/4sraDnmwmmW4GMpp6>※Wordファイルをご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

2. 4つの視点に基づいた取組及び情報共有

- NICTが重視する4つの視点（p.2参照）も踏まえながらお取組みを推進いただけますと幸いです。
- NICT・事務局から個別にご連絡させていただいた際には、「シン・産業創出力」指標にもとづく現状の取組状況や今後の取組方針についてもご共有いただけますと大変有難く存じます。

3. 連携大会等実施報告書（NICT指定フォーマット）の作成

- 連携大会前後での連携大会等実施報告書の作成をお願いいたします。 NICTHPからDL可能ですので、こちらをご活用ください。（https://www.nict.go.jp/venture/materials_program.html）

【ICTメンター派遣地区へのご依頼事項】

ICTメンター派遣時の対応及びNICT賞（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）^注の授与への対応

- 地域における連携大会やブラッシュアップセミナー等におけるICTメンターの受け入れをお願いいたします。
- 地域における連携大会の場では、可能な限り「NICT賞」（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）の授与をできるようにご対応いただけますと大変有難く存じます。

（「NICT賞」の該当者がいない場合もあるため、授与有無の両面の可能性を含めた対応を行っていただけますと幸いです）

注）NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

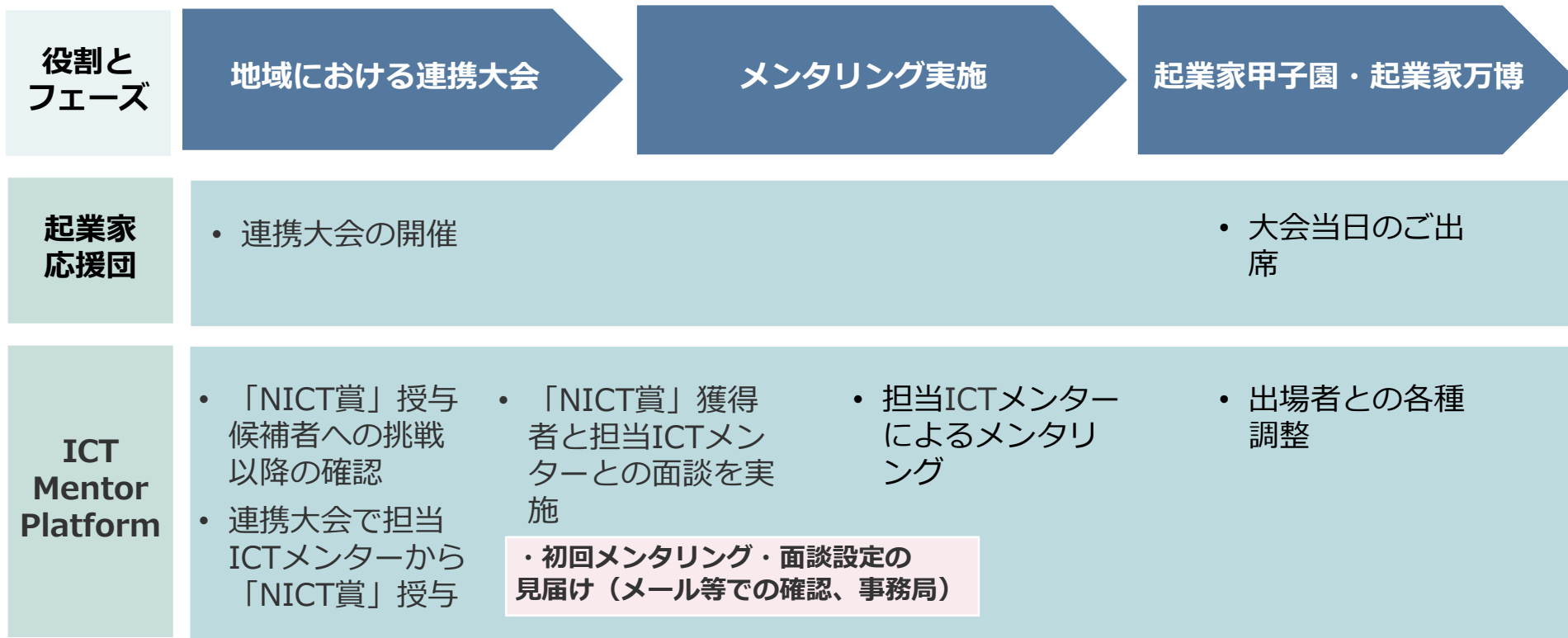
今後の流れ（予定）

2daysまで 流れ	①連携に向けた準備	②連携大会の実施に向 けた準備	③連携大会当日	④連携大会後
起業家 応援団	- 意向確認書ご回答（6月） - 連携に向けた打合せの実施（適宜） - 関係者への開催概要等連絡 - 起業家応援団連携会議への参加（7/9）	- 地域における連携大会発表者の選定 - ブラッシュアップセミナー等の実施・アンケート回収	- 主催 - 登壇者アンケート回収（Webフォーム有） - 写真撮影（後日ご提供ください）	- 開催結果アンケート（Webフォーム）ご回答（開催後2週間を目途） 「NICT賞」獲得者フォロー
NICT／ 事務局	- 意向確認アンケートの実施 - 連携に向けた打合せの実施（適宜） - 派遣するICTメンターの決定 - 起業家応援団連携会議の開催 - ひな型3点（開催概要書・実施報告書・参加者用アンケート）を起業家応援団に送付 - HP等で各地域における連携大会を周知	- 連携大会開催方法等について事前打合せ 「NICT賞」のパネル等送付	- 当日会場参加、ICTメンターのアテンド 「NICT賞」獲得者に対し、今後の流れを説明 - ICTメンターアンケート回収	「NICT賞」獲得者へメンタリングシートとエントリーシートを送付 - 参加者用アンケートの集計 - 起業家甲子園出場権獲得者にシリコンバレーブートキャンプを案内 - 起業家甲子園・起業家万博の出場者の決定（2月）
総務省 総合通信局	- 情報共有 - 打合せご同席（任意）	- 情報共有 - 広報協力等	当日参加（任意）	選出結果の広報協力等
ICT メンター			「NICT賞」獲得者を選抜 「NICT賞」獲得者に対して定期的にメンタリング	
「NICT 賞」 獲得者			起業家甲子園、起業家万博挑戦意向の確認	- 定期的にICTメンターとメンタリング、メンタリングシート記載・提出 - 起業家甲子園出場権獲得者のうち希望するチームの代表者は、シリコンバレーブートキャンプに参加

「NICT賞」獲得者への対応について

NICTは、「NICT賞」（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）獲得者に対し、NICTが運営するICTメンタープラットフォームや、「起業家甲子園」・「起業家万博」の事業について概要を説明し、メンタリングや「起業家甲子園」・「起業家万博」への挑戦の意向を確認します。

「NICT賞」獲得者への対応（フロー）



「NICT賞」（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）^注付与に当たっての基本方針（選抜の対象）

R7最新

選抜の
対象
起業家
甲子園

0. ICTを利活用したビジネスプランを発表したチームであること。
1. 高校生、高専生、大学生、大学院生等の学生で構成されるチームであること。なお、連携大会時に卒業又は卒業見込となるメンバーが所属しているチームについては、当該メンバーがチーム内で主要な役割を担っており、かつ、起業家甲子園開催時点で卒業後1年以内である場合に限り、NICT賞の授与を可とする。
2. 原則として、チームのメンバー全員が30歳未満であること。
3. 地域の特色を生かしたビジネスプランを発表したチームであること。
4. これまでに「起業家甲子園」への出場経験のあるメンバーで構成されるチームは、選抜の対象外とする。ただし、当該チームに新規のメンバーが参画し、かつ、過去に「起業家甲子園」で発表したビジネスプランから大幅に進捗していると判断される場合においては、この限りでない。
5. 発表時点で最低限でもプロトタイプレベルの実装済みであることが望ましいが、起業の有無は問わない。

選抜の
対象
起業家
万博

0. ICTを利活用したビジネスプランを発表したスタートアップであること。
1. 起業、事業計画の策定、事業拡大等に意欲があり、成長志向が強いこと。
2. 次のア、イ及びウのいずれかに該当するスタートアップであること。ただし、いずれにおいても大企業からスピンアウトして誕生しているスタートアップは除く。
 - ア 概ね過去3年以内に新規事業を開始し、資金調達を目指している
 - イ 協業者となる企業を模索している
 - ウ 概ね今後1年以内に新規事業の開始を目指している
3. 地域の特色を生かしたビジネスプランを発表したスタートアップであること。

選抜の 視点

I C Tメンター又は事務局が連携大会等に出場する学生チーム・スタートアップの中から、「起業家甲子園」・「起業家万博」への出場を前提として、以下のNICT独自の視点で審査を行い、「NICT賞」（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）注を付与する。

注）NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

＜NICT独自の視点（基本的選抜ポイント）＞

【大前提】ICTを利活用した自分のアイディアを形にして世の中に広めていきたい、自分の技術を活用して世の中に広めていきたいという意欲がある。

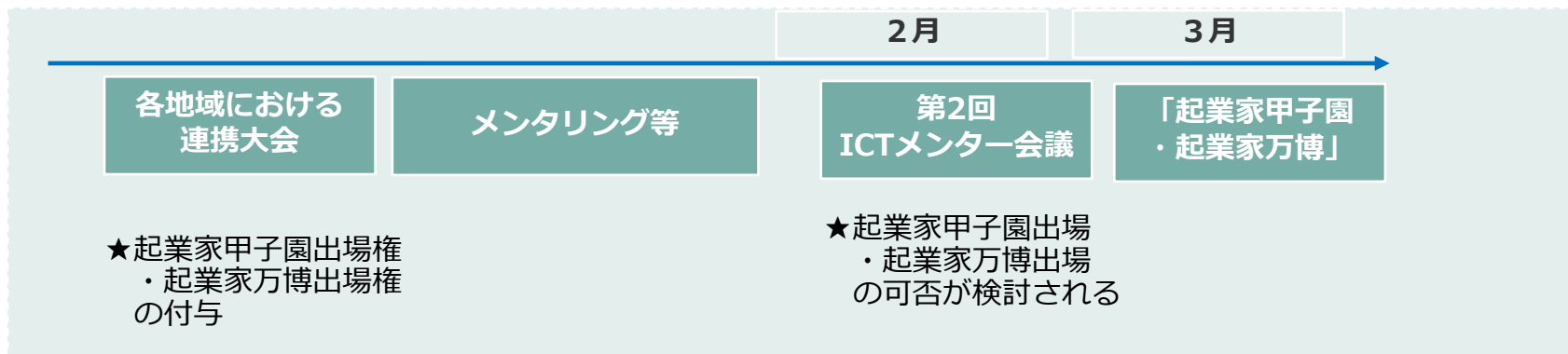
- ① 経営（代表）者が人として魅力的か、意志力・伸びしろはあるか
- ② 魅力的な事業領域か（市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか、将来的にグローバルにスケールできる見込みがあるか）
- ③ 勝てる戦略か（独自技術・アイディアがあるか、事業計画に実現可能性があるか）
- ④ 地域の「特色」「課題」「シーズ（ディープテック領域等）」のいずれかを活用したビジネスか

注）NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

連携の際の注意点について

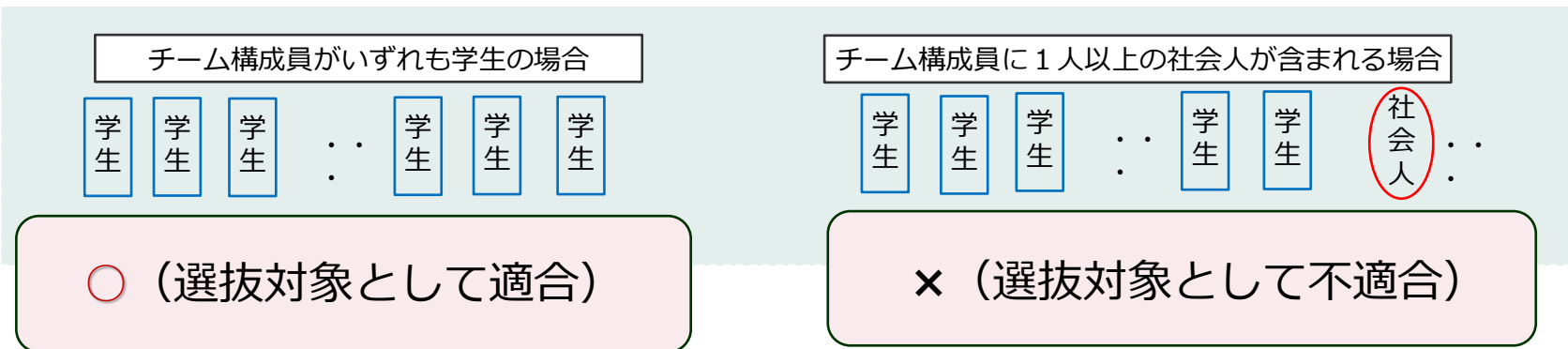
1 「起業家甲子園」・「起業家万博」における「出場権」について

NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。



2 起業家甲子園の選抜の対象（学生や学生で構成されるチームのイメージ）

起業家甲子園の選抜の対象のうち「高校生、高専生、大学生、大学院生等の学生や学生で構成されるチーム。」とは、次のイメージです。



「起業家甲子園」・「起業家万博」 開催概要（予定）

日程 場所 主催

日程： 「起業家甲子園」 令和8年3月10日（火）
「起業家万博」 令和8年3月11日（水）
場所： 丸ビルホール&コンファレンススクエア
（東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7・8階）
主催： 総務省・NICT

実施事項

- ・ 「起業家甲子園」・「起業家万博」各出場者（チーム）によるビジネスプランの発表を実施
- ・ パートナー企業の担当者をはじめとする参加者と各出場者との交流・マッチングを促進
【授与を予定している賞】
- ・ 「総務大臣賞」： 審査委員が総合的に評価・審査し、最も優れた発表を行った出場者に授与
- ・ 「NICT理事長賞」： 審査委員が総合的に評価・審査し、次点の出場者に授与
- ・ 「パートナー企業特別賞」： パートナー企業が授与したい出場者に対してそれぞれ授与

起業家応援団の 皆様へ

- ・ 起業家応援団の皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上、
「起業家甲子園」・「起業家万博」への参加をお願いいたします。